



ファイブ中塗りDP

特長

- ① JIS K 5659 鋼構造物用耐候性塗料中塗り塗料に合格しています。
- ② 環境に優しい弱溶剤タイプです。
- ③ 塗料用シンナー A で希釈でき、塗装作業性にすぐれます。
- ④ 鉛・クロムを含む原材料を配合しておりません(原材料情報に基づいております)。

用途

鋼構造物の新築・改修、一般建築物鉄部の新築・改修塗装における中塗り。

塗装仕様例

公共建築改修工事標準仕様書 鉄鋼面耐候性塗料塗り

下地調整

| 工程 | 種別 | 種別 | | | 塗料 その他 | 面の処理 |
|----|----------|-----|-----|-----|--------------|---|
| | | RA種 | RB種 | RC種 | | |
| 1 | 既存の塗膜の除去 | ○ | — | — | — | ディスクサンダー、スクレーパー等により、塗膜及び錆等を全面除去する。 |
| | | — | ○ | — | — | ディスクサンダー、スクレーパー等により、劣化しづらい弱な部分及び錆等を除去し、活膜は残す。 |
| 2 | 汚れ、付着物除去 | ○ | ○ | ○ | — | 素地を傷付けないようにワイヤブラシ等により、除去する。 |
| 3 | 油類除去 | ○ | ○ | — | — | 溶剤ふき |
| 4 | 研磨紙すり | ○ | ○ | — | 研磨紙 P120～220 | 全面を平らに研磨する。 |
| | | — | — | ○ | 研磨紙 P240～320 | |

(注) 新規鉄鋼面に塗装を行う場合は、RA種とし、工程1を省略する

塗装工程

| 工程 ^{※1} | 種別 | | | 製品名(規格名称・規格番号・等級) | 塗付け量 (kg/m ² /回) | 塗り回数 | 塗り重ね時間 (23℃) | シンナー名 (希釈率) | | |
|------------------|-------------------|----|----|---|--|------|-----------------|--|---|---|
| | A種 | B種 | C種 | | | | | | | |
| 下地調整 | ○ | — | — | RA種 | | | | | | |
| | — | ○ | — | RB種 | | | | | | |
| | — | — | ○ | RC種 | | | | | | |
| 1 | 下塗り (1回目) | ○ | — | ニッペジッキ 8000メタルグレー (JIS K 5552ジッキリッチプライマー2種) | 0.14 | 1 | 16時間以上 6ヶ月以内 | ニッペジッキ 8500シンナー はけ・ローラー: 0～5% エアレススプレー: 5～15% | | |
| | | — | ○ | ○ | | | | ハイボンファインプライマーII ^{※2} (JASS 18 M-109 変性エポキシ樹脂プライマー) | 塗料用シンナー A はけ・ローラー: 0～10% エアレススプレー: 0～5% | |
| 2 | 下塗り (2回目) | ○ | — | ハイボン30マステックプライマーK (JIS K 5551構造物用さび止めペイントA種) | 0.14 | 1 | 16時間以上 10日以内 | ハイボンエポキシシンナー はけ・ローラー: 0～5% エアレススプレー: 0～10% | | |
| | | — | ○ | — | | | | ハイボンファインプライマーII ^{※2} (JASS 18 M-109 変性エポキシ樹脂プライマー) | 塗料用シンナー A はけ・ローラー: 0～10% エアレススプレー: 0～5% | |
| 3 | 下塗り (3回目) | ○ | — | ハイボン30マステックプライマーK (JIS K 5551構造物用さび止めペイントA種) | 0.14 | 1 | 16時間以上 10日以内 | ハイボンエポキシシンナー はけ・ローラー: 0～5% エアレススプレー: 0～10% | | |
| 4 | 研磨紙すり | ○ | ○ | ○ | 研磨紙 P120～220 | | | | | |
| 5 | 中塗り | ○ | ○ | ○ | ファイブ中塗りDP (JIS K 5659 鋼構造物用耐候性塗料中塗り塗料) | 0.14 | 1 | 3時間以上 10日以内 | 塗料用シンナー A または 塗料用シンナー SA はけ・ローラー: 0～10% エアレススプレー: 0～5% | |
| 6 | 上塗り ^{※3} | ○ | ○ | ○ | 1級の場合 (ふっ素系) | 0.10 | 1 | — | ニッペファイン4 Fセラミック (JIS K 5659鋼構造物用耐候性塗料上塗り塗料1級) | 塗料用シンナー A はけ・ローラー: 0～10% エアレススプレー: 5～10% |
| | | | | | 2級の場合 (シリコン系) | | | | ニッペファインシリコンフレッシュ (JIS K 5659鋼構造物用耐候性塗料上塗り塗料2級) | 塗料用シンナー A はけ・ローラー: 0～10% エアレススプレー: 5～10% |
| | | | | | 3級の場合 (ポリウレタン系) | | | | ニッペファインSi (JIS K 5659鋼構造物用耐候性塗料上塗り塗料2級) | 塗料用シンナー A はけ・ローラー: 0～5% エアレススプレー: 0～10% |
| | | | | | ニッペファインウレタンU100 (JIS K 5659鋼構造物用耐候性塗料上塗り塗料3級) | | | | 塗料用シンナー A はけ・ローラー: エアレススプレー: 5～10% | |

※1 塗り替えにおける各工程の実施については、公共建築改修工事標準仕様書7章「塗装改修工事」内8節「耐候性塗料塗り(DP)」の7.8.2「鉄鋼面耐候性塗料塗り」に基づいてください。

※2 JASS 18M-109変性エポキシ樹脂プライマーとしてハイボン20ファイブも使用できます。詳細は各製品のカタログ・製品使用説明書等をご参照ください。

※3 上塗りのJIS K 5659 鋼構造物用耐候性塗料上塗り塗料には、1級の場合(ふっ素系)デュフロン100ニューファインやデュフロン100ファイン、3級の場合(ポリウレタン系)ハイボン50ファインもご使用できます。詳細は各製品カタログ・製品使用説明書等をご参照ください。また、使用中塗りにつきまちはお問合せください。

★上記の数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。

★塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守ってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります。)

容量

16kg セット (塗料液:硬化剤 = 14.4kg:1.6kg)

4kg セット (塗料液:硬化剤 = 3.6kg:0.4kg)

色相

各色(半つや)

性能 (JIS K 5659鋼構造物用耐候性塗料 中塗り塗料)

| 試験項目 | 規格 | 性能 |
|----------------|---|----|
| 容器の中での状態 | かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になるものとする。 | 合格 |
| 表面乾燥性 | 表面乾燥する。 | 合格 |
| 塗膜の外観 | 正常である。 | 合格 |
| ポットライフ | 規定時間後、使用できる。 | 合格 |
| 隠ぺい率(%) | 白・淡彩は90以上、鮮明な赤および黄は50以上、その他の色は80以上。 | 96 |
| 上塗り適合性 | 上塗りに支障があってはならない。 | 合格 |
| 耐屈曲性 | 折曲げに耐える。 | 合格 |
| 耐おもり落下性(デュボン式) | 塗膜に割れ及びはがれが生じない。 | 合格 |
| 層間付着性Ⅰ | 異常がない。 | 合格 |
| 層間付着性Ⅱ | 異常がない。 | 合格 |
| 耐アルカリ性 | 飽和水酸化カルシウム溶液に168時間浸したとき塗膜に彫れ・割れ・はがれ・穴を認めず、色の変化の程度が原状試験片と比べ色の変化の程度が大きくないと“異常がない”とする。 | 合格 |
| 耐酸性 | 5g/L 硫酸水溶液に168時間浸したとき塗膜に彫れ・割れ・はがれ・穴を認めず、原状試験片と比べ色の変化の程度が大きくないと“異常がない”とする。 | 合格 |
| 耐湿潤冷熱繰返し性 | 塗膜に彫れ・割れ・はがれを認めず、光沢保持率が80%以上で“湿潤冷熱繰返しに耐える”とする。 | 合格 |
| 混合塗料中の過熱残分(%) | 白・淡彩は60以上、その他の色は50以上。 | 68 |

*上記の性能は、ホワイトおよび淡彩色によるものです。

使用方法

| | |
|--------|--|
| 混合 | 2液形のため「塗料液 / 硬化剤 = 9/1 (重量比)」により混合し、十分にかくはんしてください。 |
| ポットライフ | 6時間(23℃) |
| 希釈剤 | 塗料用シンナー A |

使用上のご注意 (詳細な内容については、各製品の製品使用説明書などにてご確認ください。)

1. 溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気をしてください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願いします。
2. 所定のシンナー以外を使用したり、薄めすぎるとつやや引けやダシ、かぶり不良などをきたす原因になりますので、必ず所定のシンナーおよび希釈率をまもってください。
3. 硬化が不十分な場合は、シンナーで再溶解する場合があります。
4. 水、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。
5. 硬化剤は湿気で硬化しますので密栓して貯蔵してください。
6. 塗料を扱う場合は、皮膚に付着しないようご注意ください。また、蒸気やミストなども吸い込まないように十分にご注意ください。
7. 塗膜の乾燥過程で水分の影響を受けた場合(高湿度、結露、降雨など)、塗膜表面が白化するおそれがあります。水分の影響を受けるおそれがある場合は、塗装を避けてください。
8. 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着菌をおこすおそれがあります。
9. 内部塗り替えにおいて旧塗膜がDP、FEなどの油性系の場合、研磨すりを行ってください。下地処理が不十分な場合は、塗膜はく離の原因となります。
10. 改修工事にご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、旧塗膜を傷し溶剤彫れや縮みなどの異常が発生する場合がありますので、旧塗膜の種類をご確認のうえ、塗装仕様をご検討ください。
11. 塗地の乾燥は十分に行ってください。
12. 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
13. 塗料液と硬化剤の混合割合は、必ずまもってください。混合割合が不適切な場合、塗膜性能が発現されなかったり、仕上がりが作業性が低下することがあります。
14. 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
15. 塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
16. 塗装時および塗料の取り扱いは、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
17. 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
18. 薄めすぎは隠ぺい力不足、仕上がりが不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
19. 大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
20. はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合は、使用量、表面肌が異なるため若干の色相差がでますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
21. ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がりが異なって見えることがあります。
22. 塗装方法により色相が多少変化する場合があるので、ローラー塗りはできる限り入り隅まで入れてください。
23. 汚れ、さすなどにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
24. はけなどの塗装用具の洗いは、ラッカーシンナーを使用してください。
25. ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
26. 可塑剤が多く含まれる塩ビ鋼板、塩ビラミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革、塩ビクロスなどへの直接塗装はお避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようにご注意ください。
27. 上塗りに強溶剤系塗料のご使用は避けてください。
28. 塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かくはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかくはんしてご使用ください。
29. 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
30. 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。

*製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

安全衛生上の注意事項 (ファイン中塗DP ホワイト塗料液)

横倒禁止

1. 本来の用途以外に使用しないでください。
2. 使用前に取扱説明書入手してください。
3. すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないでください。
4. 熱/火花/炎/高温のもののような着火源から遠ざけてください。— 禁煙です。
5. 容器を密閉しておいてください。
6. 容器を接地/アースをとってください。
7. 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用してください。
8. 火花を発生させない工具を使用してください。
9. 静電気放電に対する予防措置を講じてください。
10. 取扱後は、手洗いおよびうがいを行ってください。
11. 必要な時以外は、環境への放出を避けてください。
12. 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用してください
13. 緊急の特別な処置が必要な場合は実施してください。
14. 口をすずいでください。
15. 容器からこぼれた時には、布で拭き取って水を張った容器に保管してください。
16. 漏出物を回収してください。
17. 皮膚または髪に付いた場合、直ちに、汚染された衣類をすていでください。皮膚を流水がシャワーで洗ってください。
18. 吸入した場合: 気分が悪い時は、医師に連絡してください。
19. 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。
20. 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。
21. ばく露またはばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けてください。
22. 皮膚刺激を生じた場合: 医師の診断/手当てを受けてください。
23. 眼の刺激が軽くなる場合は: 医師の診断/手当てを受けてください。
24. 汚染された衣類を脱いで、再使用する場合には洗濯してください。
25. 火災の場合: 消火に適切手段を使用してください。
26. 施設して保管してください。
27. 換気の良い場所で保管してください。涼しいところにおいてください。
28. 直射日光や水濡れは厳禁です。
29. 塗料等の缶の積み重ねは3段までとしてください。
30. 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上(スプレー缶の場合は40℃以上)の温度にばく露しないでください。
31. 容器はつり上げしないでください。やむを得ずつり上げる時には、適切なつり具で、垂直に持ち上げ、落下に十分注意してください。(肩荷重になると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。)
32. 内容物/容器を国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
33. 塗料、塗料容器、塗料を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者へ処理を依頼してください。

*上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示と異なる場合があります。

■詳細な内容、表示以外の商品については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

■本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください

危険

危険有害性情報



引火性液体及び蒸気/皮膚刺激/強い眼刺激/生殖能又は胎児への悪影響のおそれ/水生生物に毒性/長期継続的影響によって水生生物に毒性

日本ペイント株式会社

北海道支店 ☎011-370-3101 近畿支店 ☎06-6455-9608
 東北支店 ☎022-232-6712 中国支店 ☎082-281-2180
 関東支店 ☎03-5479-3614 四国支店 ☎0877-56-2346
 北関東信越支店 ☎03-5479-3614 九州支店 ☎092-751-9861
 中部支店 ☎052-461-1960

●本カタログの内容については、予告なしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。
 ●本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
 ●Copyright 2018 NIPPON PAINT Co., Ltd. All rights reserved.
 ●日本ペイントホームページ <http://www.nipponpaint.co.jp/>

カタログNo.
NP-W100
UD181001T
2018年10月作成